

①底から這い上がるゼロからの出発

底から這い上がるゼロからの出発、それほど厳しい困窮状況 逆手に取る気概
 ★これだけ厳しい困窮の中には貧困の再生産メカニズムが働きやすい。負のスパイラルから抜け出すには、効果的な公的資金投入は不可避、ただし社会的合意は必要。

3都市圏（東京・名古屋・大阪）における居住者の所得分布図

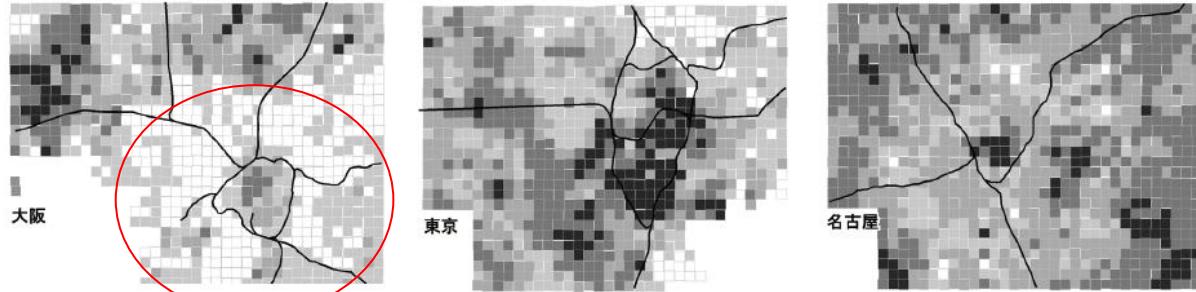


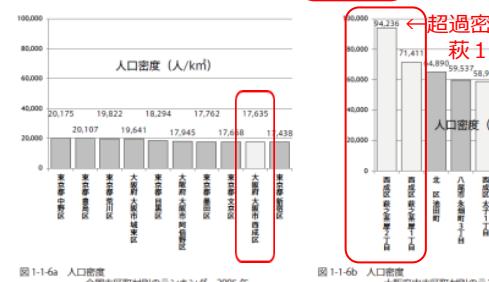
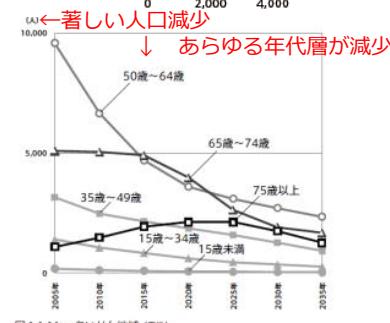
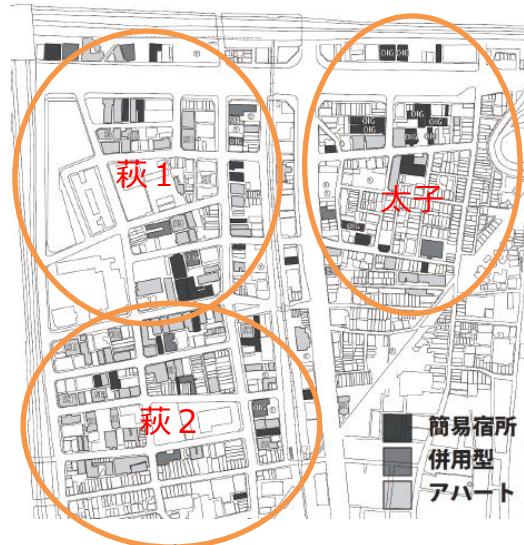
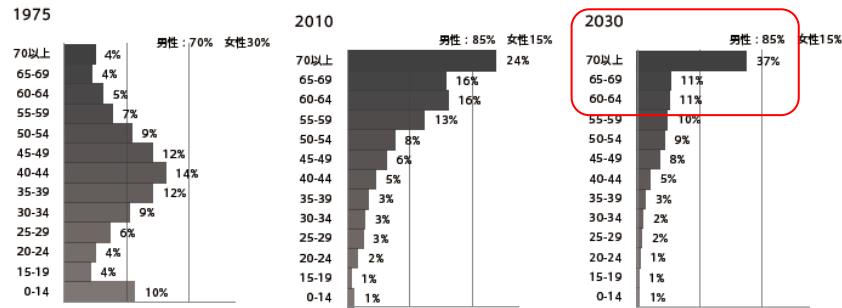
図 1-1-3a 大阪都市圏

図 1-1-3b 首都圏

図 1-1-3c 名古屋都市圏

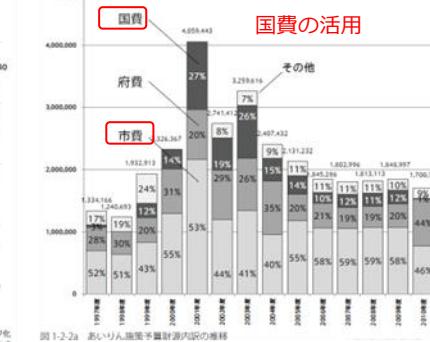
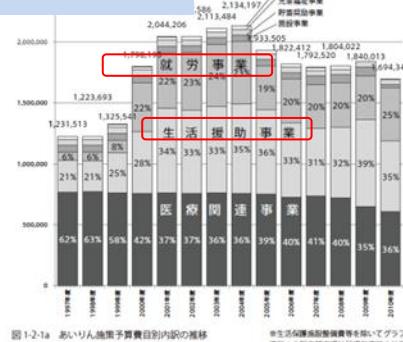
②是正すべき歪み

労働市場の伸張に合わせた政策的誘導が最もよく反映した街 → よく言えば極めて個人的な街に、普通の街に戻すには惜しいし、支援の人材もハウジングのインフラも豊富、この個性を生かす形でのまちづくり そこで生じるリスクについては、きっちりフォローする必要も当然あり



③あいらん地域施策予算

この額の妥当性を議論するときには、生じるリスクや負担を十分予測したうえで、議論する必要がある



④西成区全体

生活保護対象の市場の成立。その市場のメカニズムを生かした「大家」が主体となった対応→生活保護を活用した市街地修復型社会住宅への展開



西成区連合会別 2010年の生活保護率と生活保護受給者推移
 ▲ 生活保護
 西成区における介護サービス受給者の介護サービス内容の分布
 ▲ 介護

⑤簡易宿所2万室ハウジングストック

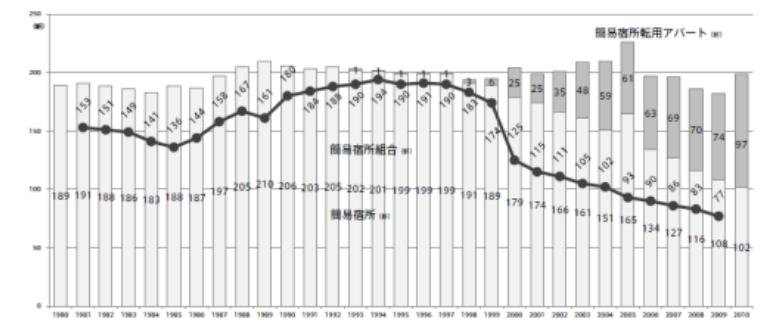


図 7-1-1 簡易宿所、簡易宿所転用アパートなどの推移

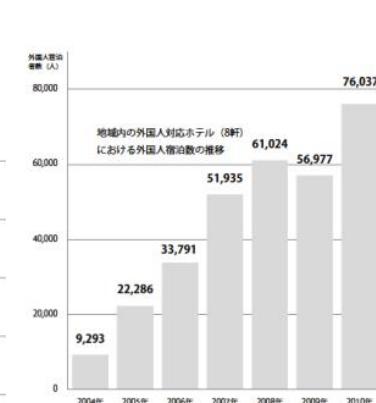
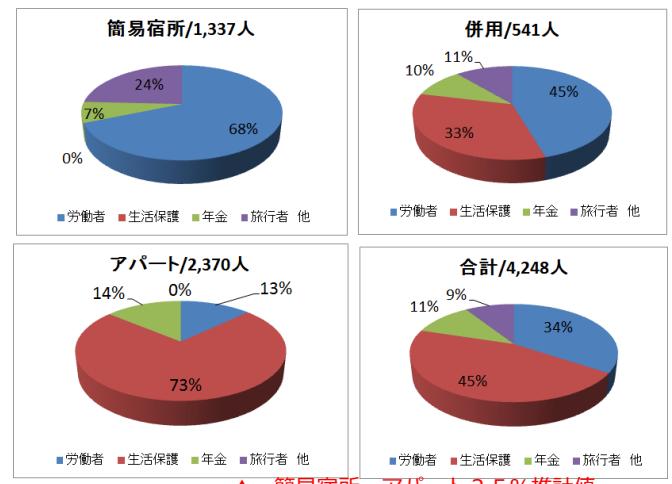


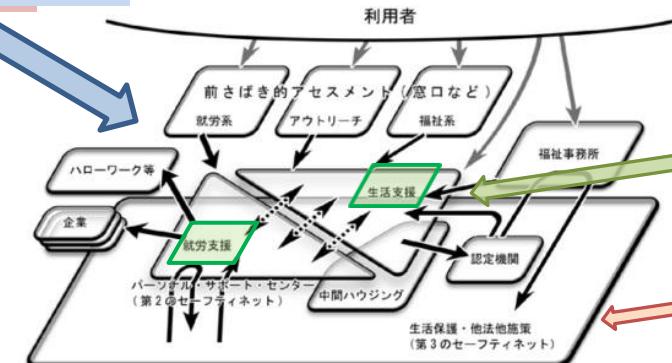
図 8-3-1 あいらん地域 外国人宿泊数推移 某ホテル8軒計
 ▲ 成長産業 国際集客



▲ 簡易宿所・アパート25%推計値
 労働者の下支え感 3000人
 旅行者のさらなる増加

⑥あり方

「居住・就労支援・集客（含 アート・大学）の空間的機能分化へ」ここに選択的インセンティブを与える



あいらん地域の部分的機能とした、インフラと人材を生かした「自立生活支援/センター/拠点/ベース/クォーター」
 <生活支援/就労支援>
 一歩手前の第二のセーフティネット

<生活保護>
 最後のセーフティネット